

高校数学演習 第2講

©MSE 電子塾, 2019

問題 1

$x = 3 - \sqrt{7}$ とする.

1. $x^2 + ax + b = 0$ を満たす a, b を求めなさい.
2. $x^5 - 7x^4 + 2x^2 - 5x + 1$ の値を求めなさい.

問題 2

連立方程式

$$\begin{cases} x^2 + 2x - 4 > 0 & (1) \\ x^2 - (a+1)x + a \leq 0 & (2) \end{cases}$$

の解 x としてとれる整数が唯一になるような a の範囲を求めなさい.

問題 3

$x^2 - 2xy + 4y^2 - 12y + 7$ の最小値と, それを与える x, y を求めなさい.

問題 4

二次方程式 $x^2 + 2ax - a + 2 = 0$ の解を考える.

1. 2つの解が異符号であるような a の範囲を求めなさい.
2. 2つの解がどちらも 1 以上であるような a の範囲を求めなさい.

問題1 解答

1. この方程式の解は $\frac{-a \pm \sqrt{a^2 - 4b}}{2}$ で、そのひとつが $3 - \sqrt{7}$ であるから、

$$\begin{cases} -\frac{a}{2} = 3 & (3) \\ \frac{\sqrt{a^2 - 4b}}{2} = \sqrt{7} & (4) \end{cases}$$

が成り立つ。これを解いて、 $a = -6, b = 2$ 。

2. $x^2 - 6x + 2 = 0$ を利用する。

$$\begin{aligned} x^5 - 7x^4 + 2x^2 - 5x + 1 &= (x^2 - 6x + 2)(x^3 - x^2 - 8x - 44) - 253x + 89 \\ &= -253(3 - \sqrt{7}) + 89 \\ &= -670 + 253\sqrt{7} \end{aligned}$$

問題2 解答

不等式 (1) より、 $x < -1 - \sqrt{5}$ または $x > -1 + \sqrt{5}$ である。不等式 (2) より、 $(x - a)(x - 1) \leq 0$ 。

- $a = 1$ の場合、不等式 (2) の解は $x = 1$ だが、(1) との共通解を持たない。
- $a < 1$ の場合、不等式 (2) の解は $a \leq x \leq 1$ である。 $a < -1 - \sqrt{5}$ であれば (1) との共通解 $a < x < -1 - \sqrt{5}$ を持つ。 $x = -4$ が唯一の整数解であるように、 $-5 < a \leq -4$ とすればいい。
(注: $a > -4$ のときは整数解を持たない)
- $a > 1$ の場合、不等式 (2) の解は $1 \leq x \leq a$ である。 $a > -1 + \sqrt{5}$ であれば (1) との共通解 $-1 + \sqrt{5} < x < a$ を持つ。 $x = 2$ が唯一の整数解であるように、 $2 \leq a < 3$ とすればいい。

まとめると、 $-5 < a \leq -4, 2 \leq a < 3$ のとき、かつそのときに限り整数解を唯一に持つ。

問題3 解答

$x^2 - 2xy + 4y^2 - 12y + 7 = (x - y)^2 + 3(y - 2)^2 - 5$ なので、 $x - y = y - 2 = 0$ のときに最小値 -5 をとる。このとき $x = y = 2$ である。

問題4 解答

$f(x) = x^2 + 2ax - a + 2$ とおく。

1. $f(x) = 0$ の解が異符号であるためには $f(0) < 0$ でなければならず、かつそれだけで十分である。つまり、 $f(0) = -a + 2 < 0$ ゆえに $a > 2$ のとき、解は異符号になる。
2. 放物線 $y = f(x)$ と x 軸の交点の x 座標がどちらも 1 以上であればよい。このとき、次の条件を満たせば必要十分である。

- $f(1) \geq 0$
- $f(x) = 0$ の判別式 $D \geq 0$
- 放物線の軸に関して $-a \geq 1$

これらから、求めるべき範囲は $a + 3 \geq 0$ かつ $4a^2 - 4(-a + 2) \geq 0$ かつ $a \leq -1$ であり、すなわち $-3 \leq a \leq -2$.